

断念の時せまる 辺野古新基地の建設はもうムリ

元土木技術者が語る

辺野古新基地—— 建設上の行き詰まりと これからの闘い

講師

きたうえだ つよし

北上田 毅
さん



活断層、軟弱地盤、
米海兵航空計画から消えた「HENOKO」
そしてなによりも「沖縄の民意」

6月15日(土)13:30~16:30 名古屋市教育館講堂

主催：あいち沖縄会議

TEL：090-7955-1161

命どう宝あいち／不戦へのネットワーク

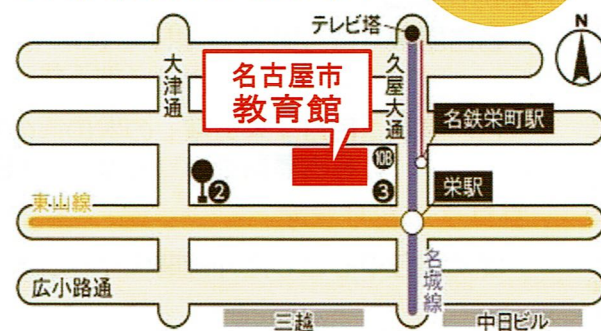
名古屋 YWCA／東海民衆センター

日本聖公会中部教区沖縄プロジェクト

JUCON(沖縄のための日米市民のネットワーク)

会場地図

地下鉄「栄」2,3,10B 番出口すぐ



資料代
800円

■講師紹介■ 北上田 毅さん

1945 年生まれ。京都大学工学部土木工学科卒業。京都府内の役所で土木技術者として働く。2008 年に家族全員で京都から沖縄に移住。「沖縄平和市民連絡会」「ヘリパッド建設に反対する現地行動連絡会（高江連絡会）」会員。

辺野古で抗議船の船長をつとめるかたわら、行政機関の土木技術者であった経験を活かし、情報公開請求を駆使して基地建設工事の進捗状況や様々な問題点を明らかにしてきた。院内集会や防衛省、国土

交通省、海上保安庁等との政府交渉で活躍、全国各地で講演活動を行う。ブログ『チョイさんの沖縄日記』で連日現地の活動を発信。

著書に、『高江が潰された日』（共著、沖縄平和サポート、2017）、岩波ブックレット『辺野古に基地はつukれない』（山城博治さんとの共著、2018）、『沖縄・辺野古から見る日本のすがた』（共著、八月書館、2019）。

主催者より 講演会開催にあたって

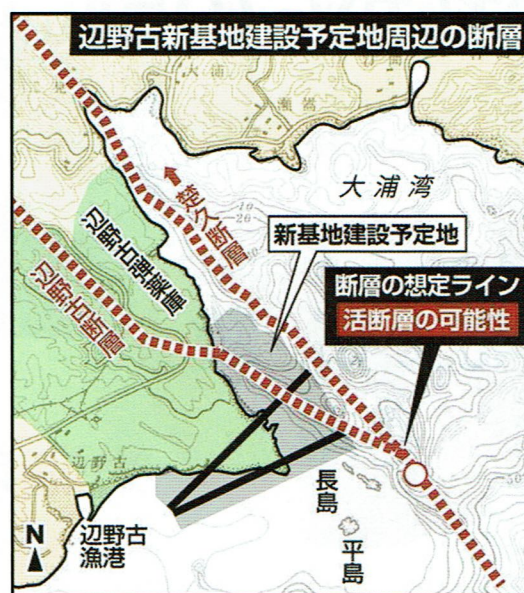
民意を無視して強行されている辺野古新基地建設の埋め立て工事。ジュゴンの住む豊かな海が無残に埋め立てられていく中、辺野古沖に現れていたジュゴンが無残な姿で打ち上げられました。工事は一刻も早く止めなければなりません。しかし知事は地盤改良のための設計概要変更申請は承認せず、その時点で工事は頓挫します。

埋め立て予定地の大浦湾には活断層があり、その地盤は「マヨネーズのよう」と言われるほど軟弱地盤であることを、政府もついに認めました。軟弱地盤は最も深いところで 90m にも達すると言われ、防衛局は、地盤改良のために 7 万 7 千本もの砂の杭を打ち込むというこれまでやったことのない工事をしています。

しかし、米海兵隊が発表した 2019 年航空計画では、名護市辺野古の新基地建設に伴う施設建設計画が削除され、普天間飛行場を 2028 年まで使用し続けるスケジュールが盛り込まれていました。米軍も辺野古の工事が難工事であることを認めています。

また、辺野古の埋め立て土砂の 70% 以上が県外から搬入される予定ですが、県外からの土砂搬入には沖縄の固有の生態系を脅かす特定外来生物の侵入が危惧されています。沖縄県の土砂条例にもとづき、知事が土砂搬入中止を勧告すれば、埋め立て土砂は持ち込めません。

これらの問題を、情報公開などで丹念に掘り起こしてきた北上田さんに、より詳しいお話を伺い、辺野古の新基地を止めるために何が出来るかを一緒に考えましょう。



『琉球新報』2019. 3. 5



あいち沖縄会議 とは

愛知で沖縄に関心がある個人、市民運動がゆるく連帯をしている団体です。本気で実現しよう！世界一危険な「普天間基地」撤去～辺野古に新基地いらない・高江にオスプレパットいらない～

以下の定例行動の他、沖縄に関する学習会の開催や映画の普及にも取り組んでいます。

定例街頭宣伝

名古屋栄 毎月第 3 日曜日 16:00~17:00
ラシック東側 (地下鉄「栄」より徒歩約 3 分 三越の南側)

名古屋駅 毎月「栄街宣」の次の週の水曜日
名古屋駅東口 交番前 18:00~19:00

ブログもあります

愛知県を中心とした沖縄関係イベント情報も掲載

